


○久慈市 総務部重点目標 ～部長マニフェスト～

総務部長 澤里 充男	【部長コメント】 総務部は、人事・組織管理、法規、予算編成、財産管理、市税等の賦課徴収、災害対策、消防団事務などを主な業務としています。
	① 市政の推進にあたり、職員が持っている力を最大限に引き出すため、適正な人事配置や組織体制を整備するとともに、ワーク・ライフバランスの取れた職場環境の実現を目指します。 ② 持続可能な財政構造構築のため予算規模の適正化に努めます。予算編成にあたっては、市、各種団体、市民の役割分担を明確にするとともに、有利な財源の確保に努めます。 ③ 台風第 10 号被害などを教訓に、講演会等により市民の防災意識の高揚を図ります。また、市民への防災情報伝達の向上策について検討するとともに、消防団員の増員に努めます。

○平成 29 年度に取り組む重点目標

No.	テーマ	テーマ（事業等）の内容
1	ワーク・ライフバランスの実現に向けた職場環境の整備	行政需要に対応した組織体制の構築を図るとともに、長時間労働の縮減に努め、ワーク・ライフバランスの取れた職場環境の実現に努めます。
	テーマ（事業等）の目標	目標達成状況 達成 ・ <u>一部達成</u> ・ 未達成
	▽人事評価制度に基づく全庁的な評価と面談の実施	▽9/20-10/31 各課等中間フォロー面談⇒10/2-11/2 職員意向調査⇒11/9-10 部長級ヒアリング、11/14-21 課長級ヒアリング
	▽計画的な有給休暇の取得を推進 H28 年次休暇平均取得日数 8.5 日(実績)⇒10.0 日(目標)	▽年次休暇平均取得日数 H28 実績 8.5 日⇒H29.実績 9.5 日
	▽超過勤務時間の縮減（対前年△20%）	▽超過勤務 H29.2 月末 79,274 時間⇒H30.2 月末 43,729 時間 前年同期比△44.9%

No.	テーマ	テーマ（事業等）の内容	
3	市民の防災意識の醸成と防災体制の充実	避難訓練や自主防災組織支援等により市民の防災意識を高めるとともに、防災情報を確実に伝達する手法について検討します。また、消防団員の増員に努めます。	
	テーマ（事業等）の目標	目標達成状況	達成 <u>一部達成</u> 未達成
	▽津波避難訓練、防災講演会等の実施 ▽防災無線難聴世帯の縮減（△10.0%） ▽新たな防災情報伝達手法の構築 ▽消防団員充足率の向上（91.3%⇒93%）	▽6月15日津波避難訓練実施、8月30日防災講演会実施 11月20日久慈市防災研修会実施、1月17日職員防災研修会実施 ▽29.9 解消世帯1世帯、30.3 月中解消予定5世帯：（△6.7%見込） ▽30.2 末現在：防災メールマガジン登録数 1,597 人、防災無線ツイッターフォロワー数 1,158 人、消防防災課フェイスブック 200 人 ▽30.2 末現在：消防団員数 801 人（93.1%）	

○自己評価コメント

- ① ワーク・ライフバランスの推進については、有給休暇の平均取得日数が1.0日増の9.5日の取得となった。また、超過勤務の縮減についてはノー残業デーの取組強化や振替の活用などにより縮減に繋がっている。しかし、部署による業務量の違いや、時期的に繁忙を抱える部署などがあり、引き続き業務量のバランスを図って参りたい。
- ② 財政健全化の取り組みについては、市税の現年度収納率は2月末現在で一般税が0.1%の減、国保税が0.4%の増となっており、5月末の出納閉鎖まで徴収事務を強化し、自主財源確保に取り組んでいく。また、平成30年度当初予算の一般財源は△3.1%の縮減としたが、6月の肉付け補正予算においても有利な財源を導入し一般財源の支出を可能な限り抑制して参りたい。
- ③ 市民の防災意識の醸成については、避難訓練や各種研修会等を実施してきたが、更なる防災意識の向上が必要であることから各種研修会等の実施や自主防災組織の拡大などに取り組んで参りたい。防災体制の充実については、防災無線難聴世帯を△6.7%縮減したが、戸別ごとに有効な方法を探り整備する必要があることから、引き続き手法について研究し解消に努めたい。消防団員の確保については、地域での勧誘や新採用市職員の研修入団などに取り組んでおり、今後も積極的に団員確保に努めてまいりたい。